

年末調整の提出書類に関するお願い

年末調整の提出書類で誤りが多い部分について取りまとめました。申告書類を記入する前に確認してください。

1. 生命保険料控除証明書

保険料払込証明書 (一般の生命保険料控除用)

保険の種類 養老保険

保険料 43,590 円(月額)

12月分まで 12月分まで

契約者負担金額(年額) 111 円

支払保険料総額(A) 507,860 円

契約者負担金額(B) 111 円

差引払込保険料総額(A-B) 507,749 円

保険会社等の名称	保険等の種類	保険期間	保険等の契約者の氏名	保険等の対象となった家屋等に居住又は専ら所有している者等の氏名	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(合計を受けた制企業等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印

12月分まで払い込む場合は、この欄の金額を転記してください。

の一般保険料と の個人年金保険料の2種類があります。いずれの保険料に該当するかは、証明書に記載されていますので、ご確認ください。

控除対象となる額は今年中に払い込む額です。12月分まで払い込む場合は、その分も含めた額を記入する必要があります。 のように見込み額が記載されている場合もありますので、確認の上、平成21年分 保険料控除申告書に転記してください。

2. 地震保険料控除証明書

地震保険料控除証明書(平成21年分)

契約者 氏名

契約の種類 新火災保険(家庭用標準特約)

主契約:平成17年 2月18日から 5年間

保険期間 平成21年 2月18日から 1年間

保険の目的建物・家財

区分 払込方法 控除対象保険料算出の基準となる保険料

地震 年払 3年分保険料 14,790 円

年間払込予定保険料 14,790 円

保険会社等の名称	保険等の種類(目的)	保険期間	保険等の契約者の氏名	保険等の対象となった家屋等に居住又は専ら所有している者等の氏名	あなたが本年中に支払った保険料等の金額(合計を受けた制企業等の控除後の金額)	給与の支払者の確認印

12月分まで払い込む場合は、この欄の金額を転記してください。

控除対象となる額は今年中に払い込む額です。12月分まで払い込む場合は、その分も含めた額を記入する必要があります。 のように見込み額が記載されている場合もありますので、確認の上、平成21年分 保険料控除申告書に転記してください。

3. 国民年金保険料控除証明書

社会保険料(国民年金保険料)控除証明書

被保険者氏名 住所

平成21年中(1月1日～9月30日)に納付していただいた国民年金保険料の額は、次のとおりであることを証明いたします。

証明日 平成21年10月1日

社会保険庁総務部総務課 印

平成21年中の納付済保険料額

①納付済 納付済保険料の証明額 Z.ZZ.ZZ9 円

②見込額 証明日から、平成21年中に納付が見込まれる保険料額 Z.ZZ.ZZ9 円

③合計額 ①見込額がある場合の合計額(①納付済+②見込額) Z.ZZ.ZZ9 円

国民年金保険料(国民年金保険料)控除証明書

控除証明書専用ダイヤル(平成22年3月13日まで) 0570-070-117

国民年金保険料控除証明書を必ず提出してください!

証明書は の部分ですので、この部分を提出してください。(様式が異なる場合も「証明書」と書いてある部分を提出してください。)

控除対象となる額は今年払う予定の額です。12月分まで払い込む場合は の金額を平成21年分 保険料控除申告書に転記してください。

証明書の添付が必要なものは、国民年金保険料についてとなっています。国民健康保険料に関する証明書については添付義務がありません。

4. 源泉徴収票

平成21年 給与所得の源泉徴収票

支払者 氏名

受取者 氏名

所得の種類

源泉徴収額

支払者 氏名

受取者 氏名

所得の種類

源泉徴収額

の表題が「平成21年分」になっているかを確認してください。

の欄に平成21年の日付(退職日)が入っているものしか利用できません。

平成21年中に働いていた会社のものを全て提出してください(手元のない方は働いていた会社に問い合わせをして取り寄せてください)。

転記する欄はありませんので、申告書類に添付の上、提出してください。

ここで取り上げた証明書等は、あくまでもサンプルです。様式が異なるものでも有効ですので、お手元の証明書等が平成21年分のものであることを確認の上、申告してください。